君津市地域おこし協力隊活動報告

隊員名：橋本　亮

指名日：令和４年８月１日

活動月	令和４年８－９月
主な活動内容	**１．「君津市地域おこし協力隊」に着任** **２．亀山湖畔でテントサウナ設置テスト** **３．上総地区の空き家調査に同行** **４．クロモジを活用したアロマの抽出体験**

１.「君津市地域おこし協力隊」に着任

令和４年８月１日付で君津市の地域おこし協力隊に指名して頂きました！私の掲げたミッションは「サウナと君津の自然を活かした観光資源の開発」です。サウナを通じて、「久留里の名水」や「亀山湖」など自然豊かな君津の魅力を再発掘し、関係人口を増やすことで君津をよりよい街にかえるキッカケ作りができたらと思っております。とはいえ、一人で出来ることは限られていますので君津で活躍されている方と協力し、外部資源を最大限活用しながら地域おこし協力隊としての任期を全うしたいと思います。

２．亀山湖畔でテントサウナ設置テスト

上総地区にある「亀山温泉ホテル」さんのグランピング施設スペースをお借りして、テントサウナの試運転を実施しました！テントサウナは持ち運べるうえに 15 分程度で設営できるので、湖畔だけでなく海岸や河原など様々な場所で手軽に楽しむことができます。亀山湖畔から眺める景色はすばらしく、テントサウナ後、心身ともにリラックスできそうな雰囲気でした。後日、近くの笹川湖にも足を運んでみたところ、公園など非常にきれいに整備されており、サウナイベントの会場にはうってつけの場所だと思いました！湖畔周辺では野生のうり坊や鹿に出会うことができ、都内では体験できない貴重な経験ができました。亀山湖や笹川湖には紅葉がキレイな時期にまた来てみたいです。

上総地域は自然が豊かな反面、倒木（台風などで倒れた木）も多いとのことなので、倒木の回収にもチャレンジし、森林の景観をキレイにしながら回収した倒木をサウナの薪として再利用することで地球環境にも優しいサウナイベントを実施したいと思います。

３．上総地区の空き家調査に同行

上総地区で精力的に活動されている明治学院大学･岩永ゼミの学生さんと一緒に空き家調査に行ってきました。久留里を中心に上総地区には持ち主がわからない空き家が少しずつ増えているそうです。空き家調査では、現地に足を運んで一軒ずつ回って聞き込みを行い、近所の方や家主に空き家かどうか確認を取ります。非常に骨の折れる作業です。家屋は誰も住んでいないとすぐにダメになってしまうと言われています。こういった空き家をうまく利用して、古民家サウナをつくることも私の事業構想の一つです。もし使っていない古民家がありましたら是非ご一報いただければと思います！

今回の調査では久留里線を使って現地へ向かいました。久留里線は黄色と緑を基調としたかわいらしいデザインで電車愛好家に非常に人気のようです。一方で利用者の減少により、久留里線の現状は厳しいようです。学生さんの足にもなっているなど、市民の方の生活に欠かすことのできない路線であり、沿線地域の活性化の役割も担っています。地域おこし協力隊の活動により、少しでも地域の活性化に貢献できたらと思います。

４．クロモジを活用したアロマの抽出体験

クロモジ職人の平田さんのご協力のもと、君津市内に自生しているクロモジを使ってアロマの抽出作業を体験させて頂きました！クロモジは和製ローズウッドとも呼ばれており、希少なアロマとして日本だけでなく海外からも注目されているようです。アロマは、サウナに欠かせない要素の一つです。ロウリュ（サウナストーンに水をかけて蒸気を発生させること）をするときにアロマ水を使うとより一層リラックス効果が高まると言われています。アロマの抽出体験では、伐採したクロモジを小さく粉砕した後、蒸留装置で一時間以上かけてアロマオイルを抽出します。数 kg のクロモジの枝葉から数 mg しか取れないアロマオイルは非常に貴重です。クロモジの香りは季節やとれる地域によって大きく変動するそうです。今回の経験を活かして、君津の様々な場所に自生するクロモジを使って自分自身でもアロマを抽出してみたいと思います。

また、クロモジは、爪楊枝としても利用されており、千葉県の伝統工芸品として知られているようです。伝統工芸と言われると少し堅苦しい感じがしますが、生活様式の変化や若者にも受け入れられるかたちでアップデートすることができれば、その価値を再定義できるのかもしれません。

地域おこし
君津市
協力隊